

四日市市における食品衛生検査所および食肉センターの見学事業について

四日市市保健所食品衛生検査所 ○小澤克典

1 はじめに

四日市市では、食品衛生検査所および食肉センターの見学事業を平成23年度に企画し、翌年度より事業を開始した。平成24年度ならびに25年度と2年間実施し、一定の成果がみられたので報告する。

2 経緯

平成23年に富山県で発生した、ユッケによる腸管出血性大腸菌食中毒事件を受け、消費者の食肉及び食肉関係事業者に対する不安や不信感が募っていることが危惧された。このような状況の下、食肉に対する市民の信頼の回復を目指して、平成23年度に本見学事業を企画した。

企画当初は四日市の一般市民を対象にすることを想定していたが、本市食肉センターは見学コースが設置されていないため、見学の受け入れ経験が乏しく、一度に多数の一般市民の見学を受け入れることに安全面で懸念が生じた。また、病原微生物等を扱う食品衛生検査所の施設に一般市民が入場することには、バイオハザード上問題があることがわかった。そこで、当面は見学対象者の中心を四日市市内学校関係者(教員および給食調理員等)に絞り見学者の人数を制限することとし、食品衛生検査所内の各検査室の見学も、スライドによる説明のみとすることとした。

上記経緯の下、平成24年7月10日に第一回見学会を実施した。

3 結果・考察

2年間の見学参加者は134名(平成24年度:49名、平成25年度:85名)で、うち99名の方からアンケートに回答いただいた。アンケートの内容は表1のとおりである。

アンケートの問4で「研修に参加した理由」を尋ねたところ、「食肉の安全安心について知りたかったから」および「肉ができるまでの工程を知りたかったから」を挙げる参加者が多かった。さらに、問4の回答を世代別に解析してみると、「食肉の安全安心について知りたかったから」と回答した参加者の割合は世代が上がるにつれて上昇し(図1)、年齢層により食の安全に対する意識が異なることが示唆された。

また、問5において「食肉の安全について不安を感じたことはありますか?」という質問したところ、「はい」と回答した参加者は73.7%であった。さらに、問5で「はい」と回答された方に、問6「食肉の安全性について特に不安を感じている項目を教えてください。(複数回答可)」と重ねて質問したところ、BSEと輸入肉を挙げる参加者が多かった(図2)。国内で最後のBSE患者が発見されてから約10年が経過するが、未だにBSEに対する消費者の不安は大きいことが示された。

と畜の流れの理解度を質問した問7において、「よくできた」と回答した参加者が78.8%である一方、「あんまりできなかった」、「まったくできなかった」と回答した参加者はいなかったこと、また、自由記載の感想として「食の安全に対する不安がなくなった」等の肯定的な意見が多かったことを踏まえると、食肉衛生について啓発を行うという本見学事業における目的は達成できたと考える。

表1. アンケート質問項目と選択肢

	質問項目	選択肢
問	あなたの年齢は?	10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代以

1		上
問 2	あなたの性別は？	男性、女性
問 3	あなたのお仕事は？	会社員、農業、自営業(飲食系)、自営業(その他)、 学生、専業主婦、無職、その他()
問 4	参加した理由は？ (複数回答可)	・食肉の安全安心について知りたかったから ・肉の正しい取り扱い方を知りたかったから ・肉ができるまでの工程を知りたかったから ・子供に肉について教えたかったから ・その他()
問 5	食肉の安全について不安を感じたことは ありますか？	はい(→問 6 へ)、いいえ
問 6	食肉の安全性について特に不安を感じて いる項目を教えてください。(問 5 で「は い」と答えた方対象。複数回答可)	輸入肉、表示、食中毒、残留抗菌物質、加工品、寄 生虫、BSE(牛海綿状脳症)、鳥インフルエンザ、放射 性物質、その他
問 7	と畜の流れの説明(講習会・見学)につい て理解できましたか？	よくできた、だいたいできた、あんまりできなかった、まっ たくできなかった、その他
問 8	この見学会の内容を周りに広めたいと思 いますか？	思う、思わない
問 9	今後聞きたい食肉に関する情報は何で すか？	(自由記載)
	今回の見学会に対してご意見がありまし たら、ご自由にご記入ください。	(自由記載)

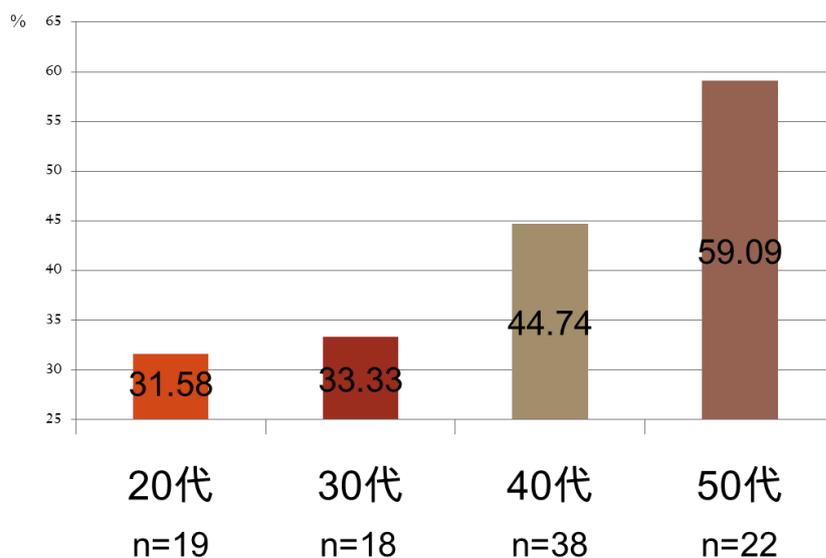


図 1. 問 4 において、「食肉の安全安心について知りたかったから」を研修参加理由として挙げた人の割合(年代別)

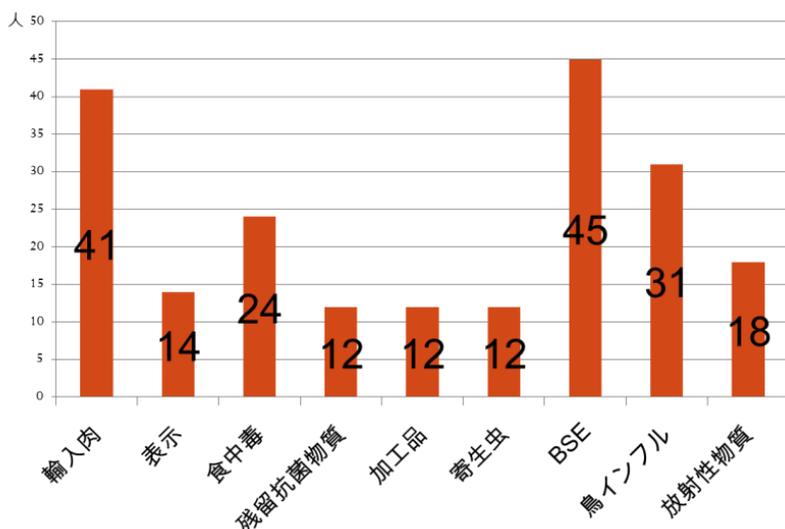


図 2. 問 6「食肉の安全性について特に不安を感じている項目を教えてください」

4 今後の展望

平成 26 年度は、引き続き市内学校関係者を対象の中心に据えることに加え、健康福祉部に配属された新規採用者全員を対象に見学事業を実施する予定である。また、アンケートの結果から、若い世代ほど食の安全に対する意識が低いことが示唆されたため、座学研修時に過去の食中毒事例を紹介する等、食の安全に対する啓発活動も盛り込んでいくことも検討している。さらに、アンケートでも要望のあった検査室の現場見学であるが、平成 26 年 3 月に当食品衛生検査所は新築移転したことに伴い、検査所内の各検査室を見学可能な構造に変更したため、本年度以降は座学のみでなく、実際に検査の現場を見学いただけるようになった。

以上のように、平成 26 年度は新規事項を加える等、前年度以上に本事業に力を入れ、食肉の安全に対する啓発活動を続けていきたい。